

平成27年度埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会

日 時 平成28年2月1日(月)

13時30分～

場 所 埼玉教育会館 104会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 保健医療部副部長あいさつ

4 委員紹介

5 議 事

(1) 報告事項

ア 平成27年度事業結果について

イ 経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2015について

(2) 協議事項

平成28年度事業計画(案)について

6 閉 会

平成 27 年度事業結果について

| 年 月 日 | 事 業 内 容 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 27 年 8 月 27 日 | ジェネリック医薬品製造工場視察 ・高田製薬株式会社幸手工場の視察及び意見交換等 協議会委員、志木市、県関係者等 24 名参加 |
| 10 月 17 日 ～23 日 | 薬と健康の週間 ・平成 27 年度「薬と健康の週間」において、薬局・保健所等でジェネリック医薬品普及啓発ポスターの掲示やパンフレットを配布 |
| 10 月 21 日 | 埼玉新聞社 ジェネリック医薬品普及促進に関わる座談会 ・県保健医療部長、県薬剤師会長、協会けんぽ支部長、県民による、ジェネリック医薬品の普及促進を目的とした座談会を実施 ・平成 27 年 11 月 29 日の埼玉新聞朝刊紙面 1 ページに掲載 |
| 11 月 | ジェネリック医薬品普及啓発パンフレットの送付 ・市町村が実施する市民まつり向け |
| 11 月 | 地区協議会設置意向調査の実施 ・県内各市町村国民健康保険担当課あて、地区協議会設置に関する意向調査を実施 ・調査結果に基づき、来年度の事業について各市町村担当者と協議中 |
| 平成 28 年 | |
| 2 月 1 日 | 埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会の開催 |
| 2 月 | 啓発資材の作成 ・啓発リーフレット入りマスク ・ジェネリック医薬品希望シール |
| 2 月中旬 | 厚生労働省作成ポスター、リーフレット、希望シール等の配布 ・県薬剤師会、保健所等を通じて配布 |
| 3 月 17 日 | 志木市地域医療連絡協議会 |

工場視察の実施について

○概要

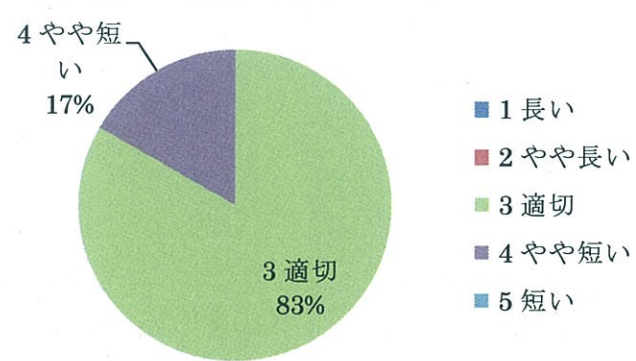
日 時：平成27年8月27日（木） 14時10分～
場 所：高田製薬株式会社 幸手工場（幸手市上吉羽 2100-25）
出席者：協議会委員10名、志木市協議会2名、事務局関係11名、高田製薬11名
施設概要：製造設備 一般固形製剤製造設備及び高活性固形製剤設備を装備
製造能力 顆粒（600 t/年） 錠剤（20 億錠/年） 高活性製剤（2 億錠/年）

○アンケート結果

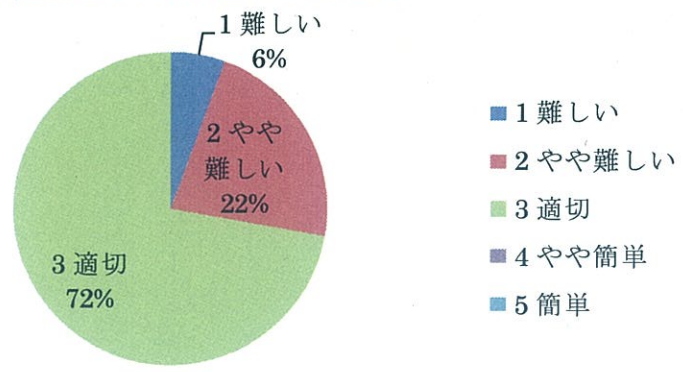
実施者数 20人のうち、回答者数18人

1 本日の工場視察について

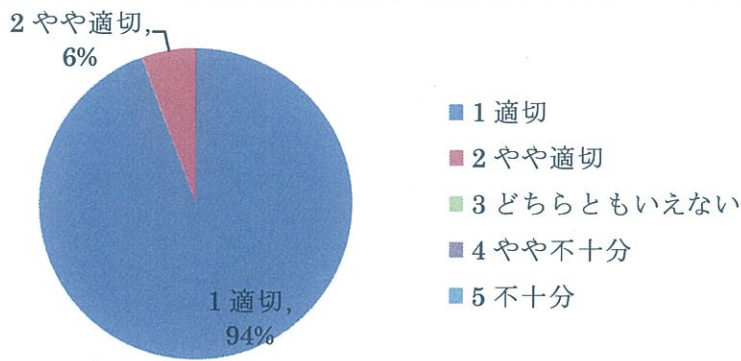
Q1 工場視察の時間は適切でしたか。



Q2 説明者の話す内容は適切でしたか。

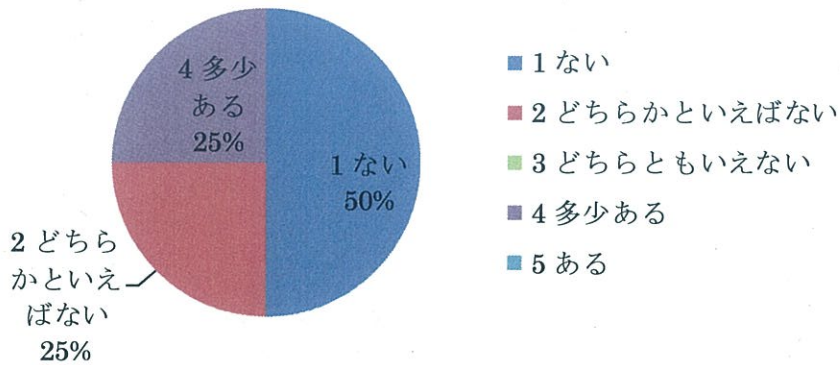


Q 3 ジェネリック医薬品の製造管理・品質管理は、適切に行われていると思いますか。



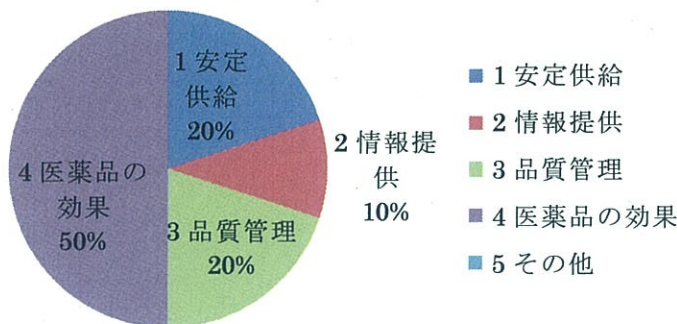
2 ジェネリック医薬品について

Q 4 ジェネリック医薬品に対する不安はありますか。

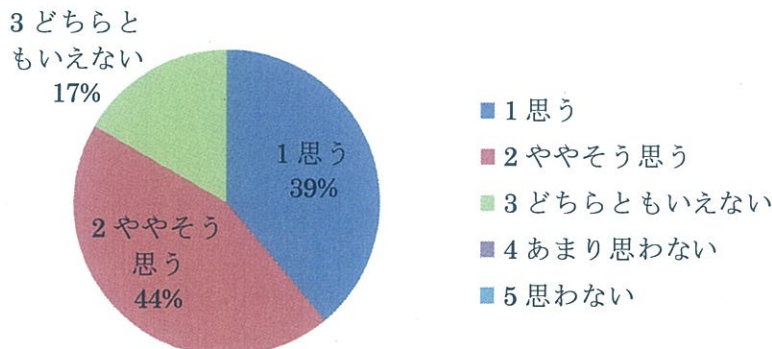


Q 5 Q 4で4又は5を選択した方にお聞きします。どのような点に不安がありますか

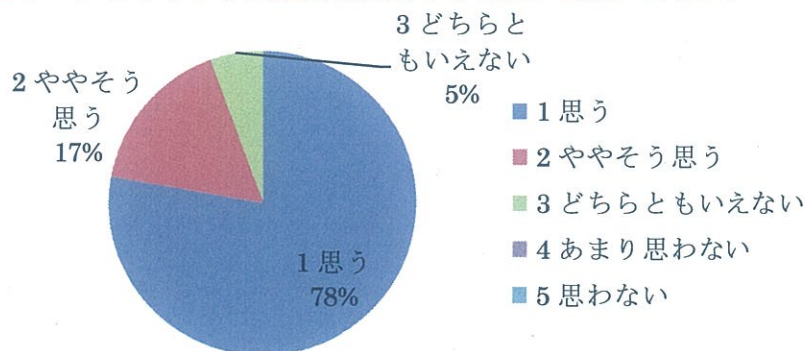
(複数選択可)。



Q 6 今回の工場視察により、ジェネリック医薬品の不安の是正につながったと思いますか。



Q7 ジェネリック医薬品を服用してもよいと思いますか。



Q8 工場視察及びジェネリック医薬品に関して、御意見等があれば御記載ください。

- ・薬代は安い方がよいので、高性能で低価格で求められるものをよろしくお願いします。
- ・ジェネリック医薬品は、ゆっくりの効きめでも OK です。
- ・品質管理、精度管理が非常に高いレベルで行われていることが実感できた。
- ・自分の中のジェネリックに対する見方が大きく変わったと感じている。
- ・例えば、モーラステープなどの外用薬では、実際に後発を使用した患者さんが効かないと先発に戻すことがあります。そういった、プラシーボ（かもしれない）のような状況も起こらないような工夫等ができれば、より推進できると思いました。
- ・製品問題時の対策
- ・今までは、使用したいとあまり思わなかったのですが、色々と工夫されていることを知って、今後は利用していきたいと思えます。
- ・見学することで、製造工程がよりイメージできました。ありがとうございました。
- ・今後とも、3A（安心品質、安定供給、安全情報）をしっかり守ってください。

ジェネリック医薬品を正しく理解し賢く薬選びを

座談会 ジェネリックの使用を促進し国民皆保険を守る

新薬と同じ有効成分でありながら価格が安いジェネリック医薬品(後発医薬品)は、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。そこで埼玉新聞社はジェネリック医薬品に対する理解度を深めてもらうと、先月21日、さいたま市大宮区に有識者を集め、座談会を開催した。ジェネリック医薬品のメリットや課題を踏まえ、患者はどうか利用すべきか、当日の模様をレポートする。(司会:埼玉新聞社 小林義治 会場:東天紅大宮店)



埼玉県薬業協会の会長 石川 稔氏

石川 稔氏 座談会司会者として、ジェネリック医薬品の重要性を強調し、国民皆保険の持続可能性を確保するために、ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。

石川 稔氏 国民皆保険の持続可能性を確保するために、ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石川 稔氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石川 稔氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

不安のある方は試し調剤を



埼玉県薬剤師会長の 栗淵 肇氏

栗淵 肇氏 不安のある方は、試し調剤を試すことをお勧めします。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

栗淵 肇氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。



協会けんぽ埼玉支部長の 柴田 潤一郎氏

正しい理解を求めて情報を発信

柴田 潤一郎氏 正しい理解を求めて情報を発信することが重要です。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

柴田 潤一郎氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

柴田 潤一郎氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

柴田 潤一郎氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

ジェネリックなさらではの工夫に感心



Daiichi Management株式会社の 石井 文子氏

石井 文子氏 ジェネリックなさらではの工夫に感心しています。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

ジェネリック医薬品を希望します。

国民皆保険の持続可能性を確保するために、ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があります。

お問い合わせ先: さいたま市大宮区... (連絡先情報)

国民皆保険の持続可能性を確保するために、ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があります。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

石井 文子氏 ジェネリック医薬品の利用を促進する必要があると述べた。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分でありながら価格が安い。これは、個人の医療費負担を軽減するだけでなく、膨らみ続ける医療費の抑制にも大きく貢献することが期待されている。

志木市におけるこれまでの取組

(1) ジェネリック医薬品希望カードの配布

- ・被保険者証の一斉更新時に、ジェネリック医薬品希望シールを同封して郵送。また窓口でも随時配布。（平成26年度から、以前はカード）

(2) ジェネリック医薬品差額通知の作成、発送

- ・ジェネリック医薬品へ変更した場合の本人負担額軽減の目安としてもらうため、後発代替品のある慢性疾患に係る薬剤について、レセプトデータを基に差額通知を作成し被保険者へ年2回通知。

（平成25年度から。通知書作成は県内各保険者間の共同事業として、診療報酬の審査支払機関である埼玉県国民健康保険団体連合会が受託）

(3) イベント時における啓発物資の配布

- ・第1回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会（平成27年5月17日実施。約550名参加）において、参加者にメガネ拭きクロスを配布。（啓発物資は埼玉県薬務課様よりご提供）

(4) 工場視察

- ・県協議会主催視察への参加。（医療関係者1名、市職員1名）

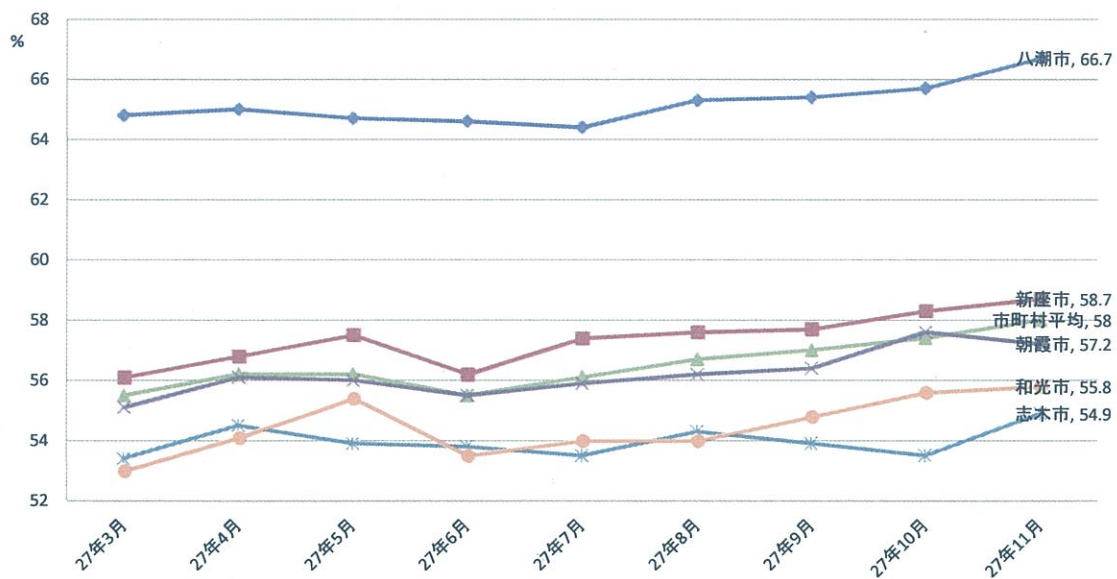
(5) 保険医療機関等への働きかけ

- ・志木市地域医療連絡協議会（平成28年3月17日実施予定）に埼玉県薬務課様に出席いただき、現在の情勢などを説明いただく予定。

審査年月別切替人数(平成27年4月～12月)



各国保険者のジェネリック医薬品利用率



※埼玉県国民健康保険団体連合会「後発医薬品利用率の推移」による。

全国の保険薬局から電子請求されたもの(院内処方を含まない)

経済財政運営と改革の基本方針2015
～経済再生なくして財政健全化なし～
(抄)

H27.06.30 閣議決定

(薬価・調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革)

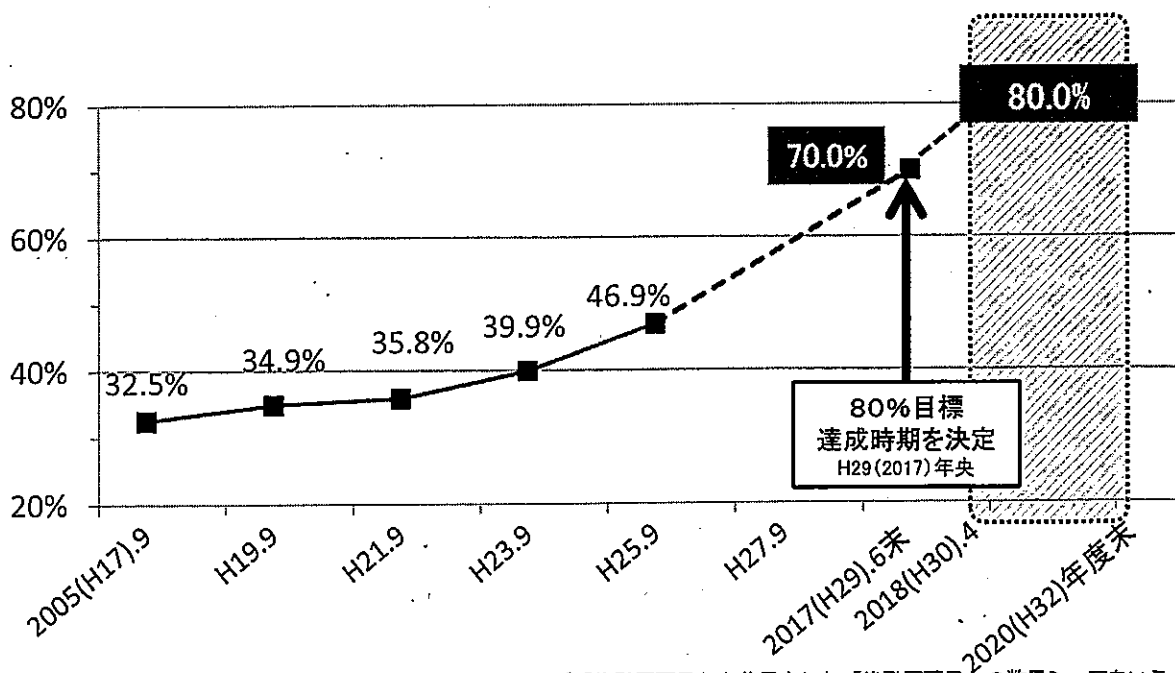
後発医薬品に係る数量シェアの目標値については、2017年(平成29年)中央に70%以上とするとともに、2018年度(平成30年度)から2020年度(平成32年度)末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする。2017年中央において、その時点の進捗評価を踏まえて、80%以上の目標の達成時期を具体的に決定する。新たな目標の実現に向け、安定供給、品質等に関する信頼性の向上、情報提供の充実、診療報酬上の措置など、必要な追加的な措置を講じる。国民負担を軽減する観点から、後発医薬品の価格算定ルールの見直しを検討するとともに、後発医薬品の価格等を踏まえた特許の切れた先発医薬品の保険制度による評価の仕組みや在り方等について検討する。あわせて、臨床上の必要性が高く将来にわたり継続的に製造販売されることが求められる基礎的な医薬品の安定供給、成長戦略に資する創薬に係るイノベーションの推進、真に有効な新薬の適正な評価等を通じた医薬品産業の国際競争力強化に向けた必要な措置を検討する。

1

後発医薬品の数量シェアの推移と目標

数量シェア
目標

- ① 2017年(平成29年)中央に70%以上
② 2018年度(平成30年度)から2020年度(平成32年度)末までの間のなるべく早い時期に80%以上



注) 数量シェアとは、「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の数量シェアをいう

重要課題検証「中間取りまとめ」（概要）

～医薬品に係る国民負担の軽減（後発医薬品の使用促進等）～

H27.06.18
行政改革
推進会議

課題

後発医薬品に対する
安心・信頼の向上

医薬品産業の
創薬力・競争力強化

国民負担の効果的
・効率的軽減

提言内容

医師・患者等の不安の要因：

後発薬の種類が多さに伴う情報の不足・混乱

厚生労働省等に以下を要請

- ・国による品質確保の推進・情報提供の拡充
- ・公務員共済組合による率先使用
- ・地域協議会（医師・薬剤師等）の設立と「汎用品リスト」の推進・透明化
- ・安定供給ルールを徹底、使い勝手の良い名称ルールの在り方の検討

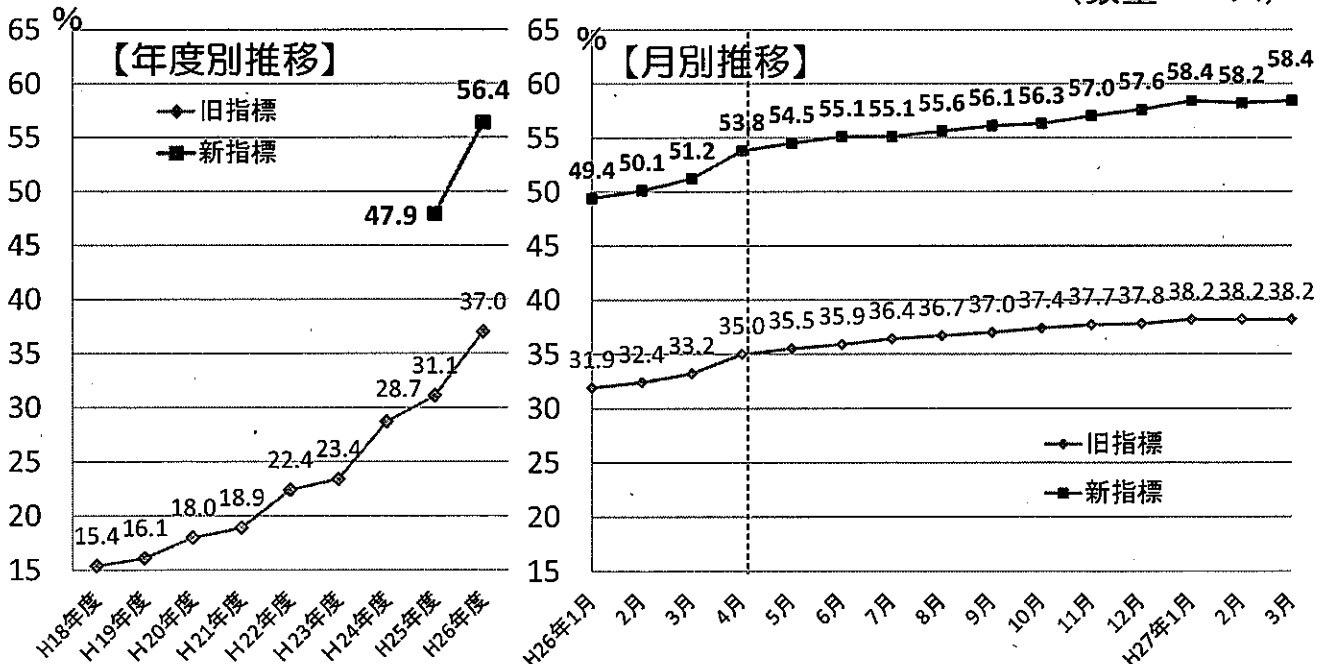
H26年「秋のレビュー」の指摘のうち、後発薬の使用割合によって各保険者が支払う後期高齢者支援金を加減算するとの提案は、今年の医療制度改革で措置

- ①後発薬使用割合を80%以上に引き上げ：後発薬メーカーが先発薬メーカーから受託生産している先発薬製造ラインの切替により、前倒し可能。新目標の達成時期は、2020年度末より前の、できるだけ早期に設定すべき。
※ 促進策として、診療報酬上の対応に加え、処方箋様式も変更。
- ② 特許の切れた先発薬（長期収載品）の保険給付額の見直し：長期収載品の保険給付額を後発薬の価格に抑える仕組み（いわゆる「差額の自己負担化」を含む。）は、患者に後発薬への切替のインセンティブを付与するために有効な手段。医薬品によるアレルギーの扱い等をセットで検討する必要。

日本の医薬品市場は、> 諸外国に比べ長期収載品の売上高比率が高い
> この構造を温存しては後発薬の利用拡大にとっても新薬開発の促進にとってもマイナス

- ①後発薬の使用目標を大幅に引き上げ、長期収載品の市場シェアを引き下げ
更に、後発薬への置換えが進まない長期収載品は薬価の引き下げも検討。
- ②先発薬メーカーの創薬力を強化するため、革新的新薬のイノベーションを適切に評価
研究開発費を継続的・安定的に投じ得る基盤の確保は重要。ただし、新薬創出加算が創薬力強化に有効かは検証が必要。
- ③後発薬の薬価引下げ等により、後発薬メーカーの体質を強化
後発薬の新規収載時の薬価引下げ、安定供給・説明責任の強化を図ることで、体質を強化。後発薬の薬価引下げは国民負担軽減のためにも必要。

「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」における後発医薬品割合（数量ベース）



注1) 保険薬局で、レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトのデータをもとに分析したもの（出典：「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」（厚生労働省保険局調査課））。

注2) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注3) 新指標とは、後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア（「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」で定められた目標に用いた指標）。

旧指標とは、全医療用医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア（平成19年に「医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム」で定められた目標に用いた指標）。

平成 28 年度の事業計画（案）

1 研修会等

(1) 勉強会

郡市医師会の会議に出向いて勉強会を開催（30 郡市医師会を対象）

(2) 研修会

県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、市町村担当者及び企業保険者等を対象に研修会を開催

(3) 工場視察

郡市医師会等を対象にジェネリック医薬品メーカーの工場視察を実施

2 普及啓発活動

(1) ポスターの作成

県、県医師会及び県薬剤師会の連名で使用促進に係るポスターを作成

(2) 普及啓発資材

ジェネリック医薬品の使用促進に協力的な市町村向けに普及啓発資材を作成
（市町村のキャラクターと県のマスコット等のコラボ等）

(3) 全国健康保険協会（協会けんぽ）埼玉支部と連携した啓発活動

メディアや広報紙等による PR 活動のほか、協会けんぽ会員や県民に啓発資材、リーフレット等を配布し、使用促進に向けた普及啓発を図る。

3 その他

(1) 地区協議会の開催（2 保健所単位を対象）

地域の汎用ジェネリック医薬品リストを作成

(2) 県民に対する普及啓発

毎年 10 月に開催する「薬と健康の週間」で、ジェネリック医薬品の普及啓発活動を実施

(3) 市町村協議会の継続・設置拡大

①志木市との連携事業の継続

平成 26 年度からの県及び市の協議会への相互出席や普及啓発活動等の取組を継続

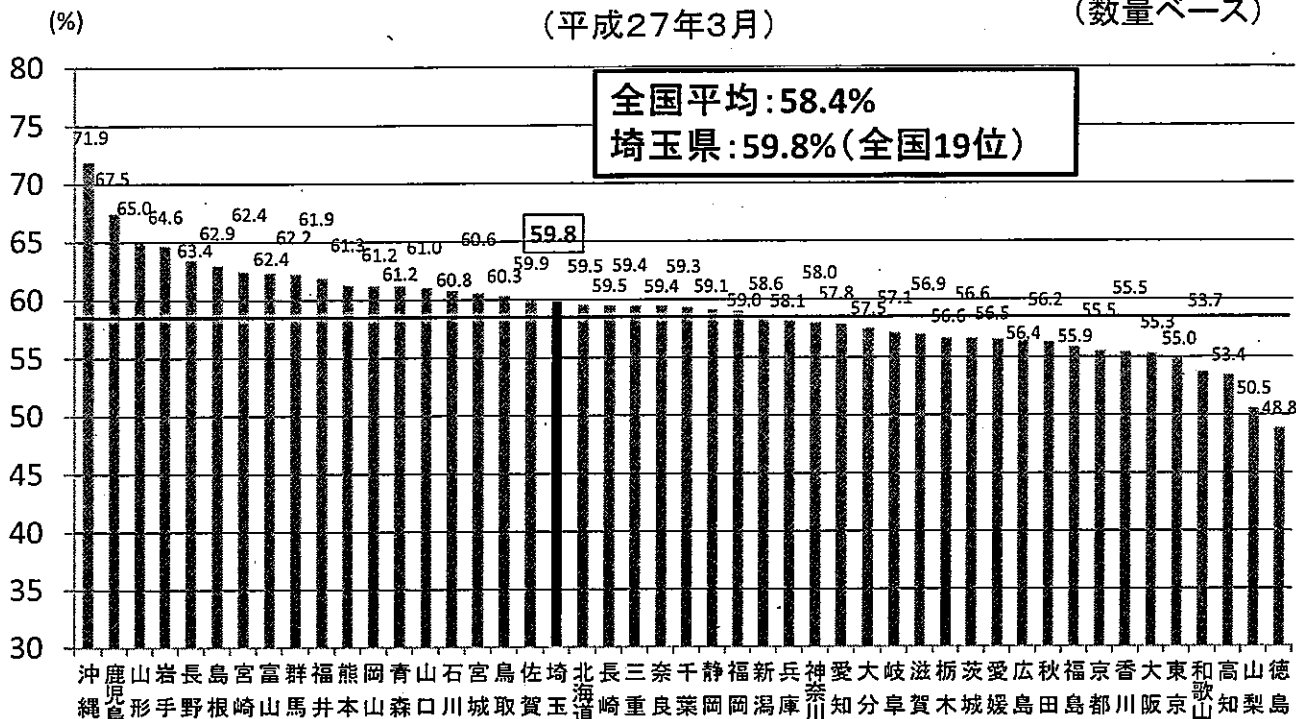
②他市町村との連携検討

志木市における取組状況をモデルとし、地域協議会設置市町村の増加を図る。

「最近の調剤医療費(電算処理分)」における新指標による
都道府県別後発医薬品割合

(平成27年3月)

(数量ベース)

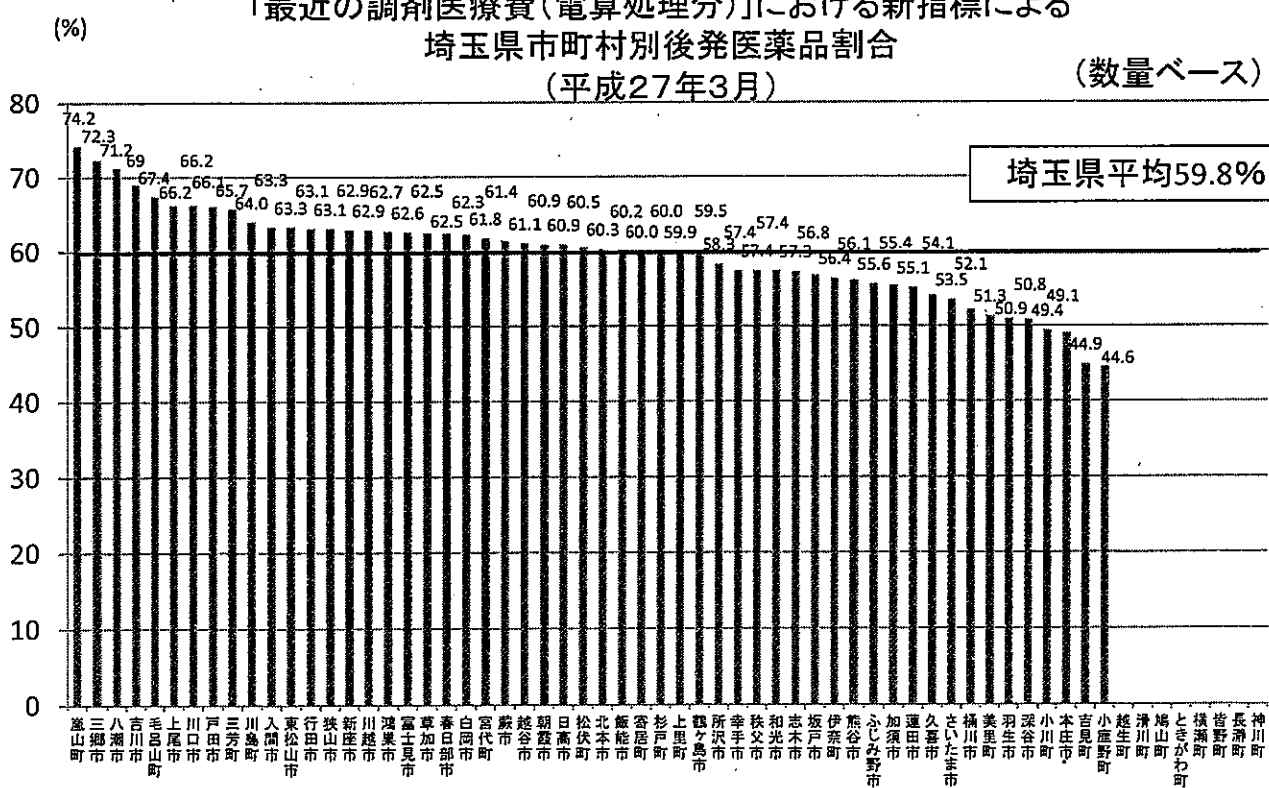


- 注1) レセプト電算処理システムで処理された薬局における調剤レセプトのデータをもとに分析したものである。(保険局調査課まとめ)
医政局経済課の調査(薬価調査)は、すべての医療用医薬品の取引を対象としているため、数値が異なる。
- 注2) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
- 注3) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

「最近の調剤医療費(電算処理分)」における新指標による
埼玉県市町村別後発医薬品割合

(平成27年3月)

(数量ベース)



- グラフ表示される市町村は、帳票出力対象年月に保険請求のあった薬局の所在する市町村(なお、東秩父村は無薬局市町村)
- 注1) レセプト電算処理システムで処理された薬局における調剤レセプトのデータをもとに分析したものである。(保険局調査課まとめ)
医政局経済課の調査(薬価調査)は、すべての医療用医薬品の取引を対象としているため、数値が異なる。
- 注2) 保険薬局の所在する市町村ごとに集計したものである。
- 注3) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。